



13歳からのアート思考

～美術の作品をより楽しんで観賞するための2つの魔法の言葉～

私事ですが昨年9月に引っ越しをし、通勤時間が伸びたので、読書する時間も増えました。その中で、昨年購入した『13歳からのアート思考』という本を久々に読み直しました。タイトルに『アート思考』と書いてあるので、美術や制作が苦手な人は少し抵抗があるかもしれません。私も正直幼少期より美術は苦手でした。そのため、「少しでも自分の中の苦手意識をなくしたい」と思い、職員に勧められたことがこの本を手にとったきっかけです。この本の中には、「なぜ美術が子ども達にとって大切なのか」や、美術が楽しくなるためのワーク、作品の見方・考え方などたくさん書いてあるので、皆さんもぜひご覧になってみて下さい♪今回は、この本の中に書いてあった『美術の作品をより楽しんで観賞するための2つの魔法の言葉』をご紹介します。

美術の作品をより楽しんで観賞するための2つの魔法の言葉

『どこからそう思う?』・・・主観的に感じた『意見』の根拠となる『事実』を問う
『そこからどう思う?』・・・作品内の『事実』から主観的に感じた『意見』を問う

自分の感覚器官を駆使して作品と向き合うことは、「自分なりの答え」を見つける第一歩です。では実際に下の絵を使って、魔法の言葉で視点を深めてみましょう。

Q: この絵についてどんな印象を持ちましたか?

A: クジラがいるみたいに見えます。

Q: どこからそう思う?

A: 絵の下の方、赤い点が目で口を開けているように見えました。

Q: そこからどう思う?

A: 子どものクジラかな?

無邪気な感じでかわいいです。



Q: 他には何かある?

A: 左上に海に沈む夕日が見えました。

Q: どこからそう思う?

A: オレンジ色の波のような模様があるからです。

いかがでしょう? もう一步深まった鑑賞が出来たのではないですか?

私はこの手法で、美術館巡りを始めました(笑)

子どもの作品を見る時、また、子どもの何気ないつぶやきが出た時、是非ぜひ深めてみて下さい。

新たな発見につながるかもしれません♪

(中野)